

## ONE TEAM (ワンチーム)

今年の流行語大賞の年間大賞に、ラグビー日本代表のチームスローガン「ONE TEAM」が選ばれました。「ONE TEAM」とは、「**チーム一つになって**」という意味になります。みんなで1つのことをやり遂げるときに、全員の力を合わせて一丸となってやり遂げるという意味で用いられるようです。

さて、12月5日(木) 「えいしんまつり」には、お忙しい中、多くの保護者のみなさまや地域の方々に集まっていただき、子ども達はとても有意義な時間を過ごすことができました。

一番の心配事は天気でしたが、寒さも緩みほっと一安心。あとは、子ども達の頑張りに期待するだけでした。

**1・2年生は、「ふれあい遊び」** 優しい目で園児を見つめながら、一生懸命にゲームの説明をしている姿が心に残っています。

普段は、説明を聞くことが多い低学年ですが、この日は、いつもと違って教える立場。優しく丁寧に話しかけている子ども達が、とても頼もしく見えました。

**3・4年生は、「室内ペタンク」** ボールが投げられるたびに、大きな声援と笑い声が聞かれ、勝敗に関係なく、ゲームを楽しむことができました。興奮のあまり、老人会の方と抱き合って大喜びする子どももいました。普段は、あいさつを交わして通り過ぎるだけのつながりだったかもしれませんが、ペタンクを通して、地域の方がより身近に感じられるようになったと思いました。

**5・6年生は、「そばうち」** 老人会の方々のマンツーマンの指導によって、子ども達はコツをつかみ、手際よく麺をのばしたり、切ったりすることができました。わずか1時間の間に、その技がみるみる上達したと感じました。老人会の方からも「上手になったね！」と声をかけられ、子ども達は夢中になってそば打ちに取り組んでいました。

お昼には、参加者全員によるそばの会食。園児から老人会の方々まで、200名ほどが集まり、盈進の自慢であるそばを食べました。みんなでおいしいそばを食べながら、「ふるさとの良さ」「地域のぬくもり」を感じることができました。

えいしんまつりを振り返りながら、改めて、学校・家庭・地域が一つになって、子ども達を育てていることを実感しました。

「盈進の子ども達のために、全員の力を合わせて一丸となることができた。」まさに、『**盈進は、ONE TEAM**』だと思いました。

これからの活動においても、お互いの結びつきを強め、目標に向かってチーム一つになってやり遂げることができるよう、日々の教育活動を充実させていきます。

今後とも、よろしくお願いいたします。

